

つの署名運動組織が連合体となり「水俣を明るくする市民連絡協議会」をつくるが、当面の問題として患者家族、島田チツソ社長との話し合いを計画している。

患者との間には浮池市長が仲に立ち、患者側の意向を打診しており、十二日午前中に患者側から返事をする事になっていく。チツソ社長には市民の立場から会社の真意を聞きたいとしており、会社側に面会を申し入れる。また十四日午後二時から市体育館で大会を開き、署名協力者の了解を得たうえで「水俣を明るくする市民連絡協議会」として正式にスタートする。

なお、この日は水俣病を告発する会の集会が水俣市で予定されており、九州各県から会員が集まる。

患者家族、チツソと話し合いを

明るくする市民協

水俣病をめぐって行なわれた二